

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度宍粟市上下水道事業経営審議会（第1回）	
開 催 日 時	令和5年10月23日（月）13時30分から15時30分まで	
開 催 場 所	宍粟市役所 502 会議室	
議 長（会 長） 氏 名	瓦田 沙季（県立大学教授）	
委 員 氏 名	(出席者) 片山 繁樹 中尾 豊實 小林 晋八 春名 省吾 岸本 京子 長野 委久子 松本 則夫 中本 弘美 山國 和志	(欠席者) なし
事 務 局 氏 名	福元市長、樽本部長、坂井次長、山本課長、進藤次長兼課長、大谷係長、宮本主事	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開・非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び決定事項) 令和4年度水道事業決算について報告	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別添のとおり	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員	1 開会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 会長挨拶 5 審議事項 ー令和4年度水道事業決算について事務局より報告ー ー水道のしくみについて part2 視聴ー 有効率に差がありますが、有収率にはどのような変化がありますか。
事務局	有収率は R3 年度が 85.38%、R4 年度が 83.95%で 1.42%減少しています。寒い冬の影響で漏水が発生し、有収率の減少に影響しました。
委員	過去数年、経営効率向上のために有収率の改善が見受けられていました。R4 年度下がっているのはなぜですか。
事務局	R3 年度に大きく改善していました。平均すると有収率について上がってきていますが、R3 年度と比較すると下がって見えます。凍結による漏水が多かったのが影響したと考えます。
会長	凍結による漏水の件数は把握していますか。
事務局	具体的な数字は現在わかりません。感覚的には多く感じました。
会長	稼働率は R3 年度よりも上がっていますか。
事務局	上がっています。寒かったため施設の最大稼働率が 92%となっております。
会長	気候の変動で漏水件数の量の変動します。一方で少しずつ修繕更新し、有収率を上げていかないと、せっかく水を作って供給しているのに収入につながらないのは経営効率悪化の一つの指標となってしまいます。継続して改善してほしいです。
委員	料金回収率について別の言葉で表現することはできませんか。滞納の有無等が存在するため、分母と分子の関係にしっかりときません。
事務局	国が出している文言を使っています。お話のとおり勘違いをされる方もおり、未収金が多いというイメージを持ってしまいます。
委員	動力費が R4 年度の方が R3 年度より約 2,000 万円増えています。次年度には影響ありませんか。
事務局	R5 年度の上半期ではトータルで約 700 万円、平均で言いますと 1 カ月当たり 100 万円下がっています。こちらを元に考えますと、年間 1200 万円下がる見込みです。しかし、冬場に使用量が高くなることで、前年度と変わらないと考えられます。
委員	減価償却費が R4 年度で減少しているが、今後も下がる見込みですか。

事務局	現在は施設の更新ではなく、長寿命化の傾向にあるため、減価償却費は減少する見込みです。
委員	配布資料の職員数は 12 人とありますが、決算書では 8 人となっています。どこかに差がありますか。
事務局	配布資料は決算統計を元にしてしています。会計年度任用職員数を含んでいるため差があります。正職員は 8 人となります。
会長	配布資料に決算書と相違する旨、注記を入れるようにお願いします。
会長	電気代は他自治体の傾向を見ても下がらないと思いますが、どのように考えていますか。
事務局	電気代については各家庭でも 1 割程度上がっていると思いますが、低圧電力分の料金が上がっています。動力費である高圧電力料金は 2・3 割近く上がってきていますので、下がる傾向ではないと考えています。
委員	自治会の代表として出ていますが、夏に自治会間の水道の使用量が増えていると水道管理課より連絡がありました。子どもたちが遊ぶときに水を出したまま一晩経過したことがあったため自治会の代表として気をつけようと思いました。漏水についてもですが、外の水道についてはしっかりと管理をしないといけないと感じました。
会長	有効率の低下にも繋がります。
事務局	漏水の件ですが、毎年漏水調査を行っています。年間で 50km～60km 間の調査を行っています。最新 10 年間の平均では約 20 件の漏水箇所が発見されています。漏水箇所を修繕すると年間で 0.6%有収率が上がりますが、現在は修繕しても次の箇所が漏水するといった悪循環となっています。本来の 0.6%有収率の解消もできていません。次年度から違った漏水調査を行い、解消していこうと考えています。
会長	他自治体の取組事例として、人工衛星を使用した調査が行われています。宍粟市の水道管の材質で優先的に更新していくことで、新しい漏水も減少します。更新率をどのように改善するのかと投資についても検討しないといけません。継続して行っていくようにお願いします。
委員	宅内で漏水している場合、姫路市であれば還付金がありますが、宍粟市では同様の制度は存在しますか。また、制度があるのであればどのくらいの金額になりますか。
事務局	減免対象の可否については、漏水の状況によって異なります。漏水の量に応じて 50～80%減免を受けることができる制度があります。また、4 か月間遡って減免することが可能です。
委員	今現在は何件くらいありますか。
事務局	資料はありませんが、冬場だけでなく、年間を通して漏水は起きています。かなりの件数です。

委員	地中の中だと発見しづらいです。
事務局	2 か月に 1 回の検針で宅内の使用量がわかります。一定量から増えていた場合は通知して対応しています。
会長	可能であれば次回、過去 5～10 年の年間漏水件数とどの時期に起きたのかわかる資料をいただきたいです。冬が多いのであれば、どのような対策がとれるのか研究をしてください。同時に審議会の方へ連絡もお願いします。
委員	漏水の点検をしていることに対して安心できました。和歌山県で水道管崩落による事故もありました。年に 60km の点検はとても重要であると感じます。上下区域内の人口、年度末の給水人口の減少はこれから先どのくらいになるという見込みですか。後日で構わないので教えてください。年間有効水量が対前年比でかなり違います。年間総有収水量についても同じです。私は、人口のこともあるため仕方ないと解釈しましたが、実際はどのように解釈すればよろしいですか。
事務局	人口が減って収納料金が減少しています。水量は下がりますが、一人世帯が増えていることで、10 m ³ 使用していたものが 3 m ³ に減ることがありますが、基本料金内となり収納料金は変わらないため、なんとか料金を確保できています。ただ、今後空き家となってしまい、閉栓されてしまうと、収入が 0 になってしまうため、急激に料金が減ってしまうという心配をしています。
委員	一般会計の繰入が増えています。
事務局	年々減っていますし、年々減少していくのが基本的な流れとなります。コロナウイルスの臨時交付金や電気代高騰による国からの補てんを一般会計より繰り入れた分が増加しています。基準内繰入については今後減少します。477 万円増えていますが、この中にはコロナの交付金 520 万円、企業への支援の燃料高騰の部分が企業会計として約 1000 万円含まれているため、約 600 万円は減っています。
委員	長期前受金戻入には固定資産の減価償却費は含まれていますが、その他に国庫補助金と企業債についても含まれているという解釈で間違いありませんか。
事務局	企業債は含まれていません。収益である長期前受金には含まれず、補助金だけで含まれます。
会長	補助金だけですか。工事負担金は含まれますか。
事務局	工事負担金も含まれます。
会長	割合は把握していますか。
事務局	資料を準備していないため把握していません。
会長	他自治体でも問題となっています。次の更新時に国から補助金がもらえるのか。もらえないのであれば更新財源が足りなくなります。大きい自治体だと団地の開発で工事負担金をもらっていますが、工事負担金のもらえるのは初回の 1 回のため次に更新時にはもらえません。本来であれば、この工事負担金部分を料金で賄わないといけませんが、現在の制度としては減価償却費に見合う分を収益として計上しています。そのため会計をよく見せています。40、50 年後には問題とし

	て挙がる可能性があるため、新たに起債を借りののか料金を上げるのか対応が必要になると考えます。
委員	決算書p.4の仮受消費税額については、どの金額に対しての消費税ですか。
事務局	営業収益と営業費用の分です。
委員	決算書p.32ハンディターミナル機器更新業務とありますが、ハンディターミナルとは検針時の機械のことですか。
事務局	間違いありません。市内すべての機器を更新したため、金額が大きくなっています。
委員	次の下水の経営戦略策定に向けて人口や件数の推移がわかるものの準備をお願いします。
事務局	人口は水道ビジョンで推計しているものでは、平成24年～R3年で16%減少し実質84%になります。今後10年(R4～R13)で同じく84%に減少すると見込んでいます。人数では約5,600人減ると見込んでいます。
会長	10年で16%減少は厳しく計上していますか。他自治体であれば10%減少を多々目にします。
事務局	間違いありません。人口減少率について厳しく見積もっております。
委員	その他の経費の増加について確認しようとしたのですが、お話があったため解決しました。
会長	システム改修費以外にはどのようなものが含まれていますか。
事務局	細々したものの積み重ねとなっています。
委員	必要なものについては仕方ありませんが、細々としたものを削れたらと思います。かなり額が大きかったので、気になりました。
会長	今後で構わないので、どのようなものが含まれているのか説明をお願いします。
委員	<p>県内の類似団体の例があり、わかりやすかったです。北海道は別ですが、宍粟市と同じような山間部で人口や面積が似た自治体と比較したのも知りたいです。兵庫県は単価が高いため九州や四国が良いのではないかと考えます。起債が多いため単価も高くなってしまったため、起債が減少することで良い方向に行くと考えました。</p> <p>新規で発注する金額を真剣に考えてほしいです。</p> <p>人口が減少して、ポツンと住んでいる地域の場合、1件あっても給水するのか、給水車を使用して対策するのか、行政サービスの平等というところを考えると難しいかもしれませんが何か対策を考えてほしいです。山崎を中心としたコンパクトシティ等が良いのではないかと思いました。</p>
会長	起債については他自治体と比較しても多い額となっています。多い理由としては旧簡水の企業債の発行に関して支払利息は国から補てんされるため50%交付金が交付されます。自治体としては利用しないと損をするため、制度を利用していま

	<p>す。また、赤字を賄うための起債ではなく、これから使う施設の建設のための起債です。世代間の公平性を保つために現在の料金で賄うのではなく起債を利用します。こちらは水道事業者として合理的な考えです。自前の財源によって借り入れる起債額が自治体間で異なるため、他自治体と比べ多い額となっています。</p>
会長	<p>随意契約について教えてください。</p>
事務局	<p>基本的には、昔から競争入札です。メーカー保証のための随意契約というのは考えられます。</p>
会長	<p>応札の業者数を教えてください。</p>
事務局	<p>40～50 社の業者があります。昨年に波賀で更新工事の発注をしましたが、応札が約 20 社の業者でした。</p>
会長	<p>水道事業を宍粟市単体でやっていくのか、広域で行っていくのか考えを教えてください。建材・薬品については広域で行う等の考えもあればお願いします。</p>
事務局	<p>共同購入は行っていません。単価を比べたときに、あまり変わらないためメリットがないと感じ行っておりません。</p>
会長	<p>各自治体の地理環境、業界の構造、給水原価と単価が異なるため、統一の可否が問題であり、そのため広域で行うのは難しくなっています。しかし、建材や薬品の共同購入については広域で行っているケースも見られるため、検討をお願いします。人口が少ない小さな集落について、水道管を整備して給水するのか給水車を利用するのか考えをお願いします。</p>
事務局	<p>給水件数が数十件の小さな浄水場もあります。施設の更新時期が来ていませんが、20 年後には更新する必要があるため、およそ 10 年前からは具体的な更新内容について検討していきたいと考えています。</p>
委員	<p>波賀に 3 軒の集落があります。</p>
事務局	<p>音水には、日ノ原浄水場から給水しているため供給件数はもっと多くなります。</p>
委員	<p>20 年後と言わずもう少し早くに更新が必要なのではないでしょうか。</p>
事務局	<p>波賀は浄水のシステムが簡単なので、約 20 年後で考えています。</p>
委員	<p>集落自体がなくなるということも考えられます。</p>
会長	<p>他の地域も同じような問題を抱えています。国も政策転換の時期です。基本的にはコンパクトシティが考えられます。</p>
事務局	<p>市も同じ考えではありませんが、4 町を拠点としてコンパクトシティを考えています。</p>
委員	<p>検針をネットですることは可能ですか。</p>
事務局	<p>スマートメーターがありますが、金額が高いため導入が難しいです。メーターについては 7 年で更新します。通常であれば、約 2,000 円ですが、スマートメーター</p>

	<p>だと 30,000 円かかります。ただ、手が全く出せないわけではなく、検針困難な地域（職員が直営で検針しているところ）については 10 箇所程を導入しました。ただ、単価が下がらないと追加するのは難しいです。</p>
<p>会長</p>	<p>導入している自治体が少ないため単価が高いですが、増えてくると単価も減少します。一つの手段として考えてほしいです。</p>
<p>委員</p>	<p>値上げに関しては仕方ないと思います。水道管が通っていない地域があるみたいですが、どのように考えられていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>おそらく小茅野地区だと思いますが、元々水道を整備する際に自治会に相談しました。地元の希望を聞きましたが、料金がかかるとのことで、整備ができませんでした。人口が減ってしまい、村水道の管理が難しいとの話は聞いています。新たに上水道区域に加えることは、多額の費用を要し、困難であると考えますが、まちづくりの一環として管理に困られている自治会から相談があれば、まちづくり担当課へつなぐなどし、技術的な部分であれば助言はできると考えています。</p>
	<p>6 その他 下水道の経営戦略改定について、下水道事業決算についての審議会の日程調整。 7 副会長あいさつ 8 閉会</p>